

第 12 回総会における質疑応答

【京都市南ブロック】からの質問

総会資料を拝読し、日々の様々な活動に敬服する限りです。ただ日々が研修活動に終始している印象がぬぐえません。会の運営において研修収入は大きな財源となり、そのための会活動団体が主目的となってしまうのか危惧するところです。

24 年度決算から前年度より 300 万減の赤字決算になったことの説明開示が必要かと（予算との対比がないので、分かり難いですが研修収入がアップしていながら経費がかさんでいること。第三者評価の予算の過剰な計上等などが考えられるのかどうか）

【回答】

- 会資料を拝読し、日々の様々な活動に敬服する限りです。ただ日々が研修活動に終始している印象がぬぐえません。会の運営において研修収入は大きな財源となり、そのための会活動団体が主目的となってしまうのか危惧するところです。

⇒ 仰る通りです。介護支援専門員の質を問われて久しく、このたびは「そのあり方を検討する会」までできてしまいました。

研修のみで、質が向上するとは思えませんが、とりあえず、というところでしょうか。ただ、当会は、他の都道府県と比較しても劣らない内容となっております。研修を開催するための企画・運営に介護支援専門員が携わり、その中でスキルアップも目指しております。また、講師もできるだけケアマネジメントの実務を行っている方をお願いをしております。講師をすることでの学習効果を狙っております。

要するに、収支報告からは、見えてきませんが、研修事業を行うことでの波及効果は絶大なるものがあるということをご理解いただけるとありがたいです。

- 24 年度決算から前年度より 300 万減の赤字決算になったことの説明開示が必要かと
⇒ 収支決算報告での説明のとおりです。

- 研修収入がアップしていながら経費がかさんでいること
⇒ 委託研修と独自研修では、違いますが、普通は、研修はおこなえば行うほど収入は増え、同時に経費も増えます。よって、経費を抑えれば良いのですが、研修内容の質の担保も必要です。現在は、経費削減の為に研修で使用する物品の節約に努めており、付箋の 1 枚を無駄にしないよう受講生にお願いしている次第です。

- 第三者評価の予算の過剰な計上等などが考えられるのかどうか
⇒ 仰る通りです。

当会にて第三者評価調査員の登録を見込んでいた方がご登録いただけなかった現状があり、あまり、積極的に第三者評価機構にアプローチできませんでした。

【京都市南ブロック】からの質問

1. 非常に素朴な質問ですが、経常された各赤字の出費はどこから捻出されているのでしょうか？
2. 新入会会員数が22頁に記述されていますが、既に会員となっている人数も明確になっている方が（明記された方が）わかりやすいと思いました。
3. 同じく（P. 22）印刷物関係費の大幅な赤字は、どういう意味でしょうか。（既存会員の4倍近い新入会員、ではなかった訳ですよね？）
4. 管理費（P. 22）の大きな赤字もきになります。具体的にどのような管理の費用なのか内訳が知りたいです。
5. （P. 21）の「棚卸資金」はどこからの棚卸なのかお差支えなければ明示してください。
6. （P. 20）「事業支出」に一番大きく赤字ですが、具体的にどの経費に赤字が生じるのでしょうか？
相談事業費には、人件費×人数以外にどのような要素が含まれているのでしょうか。それとも全く別途の計算によるものなのでしょうか？
7. （P. 20）の「ブロック研修」が支出ゼロに対し、（P. 22）の「ブロック活動」に黒字の数字が上がっています。すなわち、研修は行なわれなかったが（P. 4）の内容の部会は開いたと解釈してよいのでしょうか。
※（P. 20）各支出の数字の根拠を示す「別表」があった方が理解しやすいですね。

【回答】

1. 非常に素朴な質問ですが、経常された各赤字の出費はどこから捻出されているのでしょうか？
⇒黒字の事業からです。
2. 新入会会員数が22頁に記述されていますが、既に会員となっている人数も明確になっている方が（明記された方が）わかりやすいと思いました。
⇒平成24年度末で、1734名です。
次回より明記することといたします。
3. 同じく（P. 22）印刷物関係費の大幅な赤字は、どういう意味でしょうか。（既存会員の4倍近い新入会員、ではなかった訳ですよね？）
⇒印刷物の支出は、ケアマネ・ポートに加え、主任介護支援専門員ハンドブックの作成費等も入っております。後段の（ ）の部分の意味はよくわかりません。

4. 管理費（P. 22）の大きな赤字もきになります。具体的にどのような管理の費用なのか内訳が知りたいです。

⇒管理費は、収入がありませんので、すべて持ち出しです。

内容は、先ほどの説明の通りです。

5. （P. 21）の「棚卸資金」はどこからの棚卸なのかお差支えなければ明示してください。

⇒「どこからの・・・」という意味がわかりません。

6. （P. 20）「事業支出」に一番大きく赤字ですが、具体的にどの経費に赤字が生じるのでしょうか？

相談事業費には、人件費×人数以外にどのような要素が含まれているのでしょうか。

それとも全く別途の計算によるものなのでしょうか？

⇒人件費×人数とお考えいただいて結構です。

相談事業など収入のない事業にも、事務局としての人件費および経費を配賦しております。

7. （P. 20）の「ブロック研修」が支出ゼロに対し、（P. 22）の「ブロック活動」に黒字の数字が上がっています。すなわち、研修は行なわれなかったが（P. 4）の内容の部会は開いたと解釈してよいのでしょうか。

⇒ブロック研修については、ブロック研修に関する規程が明確になってなく、ブロック研修参加費とブロック活動費を対比させておりません。よって、各々に独立させていおります。研修は開催されております。

※（P. 20）各支出の数字の根拠を示す「別表」があった方が理解しやすいですね。

⇒次回は、根拠をお示しできるようにいたします。